



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒  
 〈重点目標〉高い目標を持ち、ねばり強く努力する生徒 **～夢の実現～**

# 原町三中だより

平成30年11月 5日(月)  
 第8号  
 発行責任者  
 校長 熊澤 正人  
 電話 22-3802

## 燦稜祭、笑顔になる努力が 思い出とたくましく生き抜く力に！

平成30年度 第18回燦稜祭は10月27日(土)に開催されました。  
 実行委員会が掲げたテーマは「平成最後の笑顔満祭(えがおまんさい)」。準備期間を含めて笑顔で取り組み、燦稜祭を楽しむ三中生の姿が目につくテーマでした。  
 燦稜祭当日までの準備には、実に様々なことがあり、全員が苦しい思いや悩みを抱えたことでしょう。苦しいときにこそ、「どうしたらこの状況を乗り越えて、笑顔になれるのか」を考えて、ねばり強く努力している人に成功の可能性は広がります。  
 最後まで笑顔をいっぱいにするためにはどうするかを考え、ねばり強くやり通した生徒。閉祭式を終えた生徒は、一生忘れられない思い出とたくましく生きる力を得てくれたものと信じています。

### 燦稜祭を終えた生徒の感想

**【2年女子】**  
 今年のテーマは「平成最後の笑顔満祭」でした。一、二、三年生の合唱があり、ステージ発表では大きな笑いも起きました。総合表現タイムでも笑いが起き、テーマと同じ笑顔満祭で終われてよかったです。

**【3年男子】**  
 今回の文化祭は、自分にとって思い出深い文化祭になったと思います。その理由は、クラス全員が文化祭を成功させようという気持ちが見られたからです。合唱祭や総合学習の発表なども、みんなが一致団結して、会場の皆さんにも今までで一番よいものが見せられたと思います。

**【1年男子】**  
 みんなちゃんと集中して取り組んでいました。劇の練習の時は、回を重ねるごとに真剣に練習するようになり、協力できてよかったです。

**【2年男子】**  
 一、二、三年生全員がいい発表ができたと思いました。平成最後でみんな面白く笑顔というテーマに合った燦稜祭にできたと思いました。

**【3年女子】**  
 私は「やるなら全力で」「悔いの残らない、人生の思い出になる文化祭」を目指しました。中でも合唱は、三年生らしい艶のある曲に仕上がったと思います。最高の文化祭になりました。

**【1年生男子】**  
 新聞などを皆で協力して作ることができたことがよかったです。今後はこの経験を生かして、他の行事にも協力して取り組んでいきたいです。



燦稜祭も無事終了、閉祭式のあいさつする実行委員の生徒たち。